

# 君津中央病院企業団議会

令和7年9月定例会会議録（第2号）

日時 令和7年10月15日（水）午後1時30分開議

1 出欠席議員は次のとおりである。

出席議員

2番 重城正義、3番 田中幸子、4番 三浦 章、5番 下田剣吾、6番 荒井淳一  
7番 諸岡賛陸、8番 山田重雄、9番 中山正之、10番 佐藤博文、11番 湯浅 榮、  
12番 小島 悟

欠席議員

1番 草刈慎祐

2 職務のために議場に出席した職員は次のとおりである。

庶務課主査 泉水佳崇

3 説明のため出席したものは次のとおりである。

企業長 田中 正、代表監査委員 高橋 隆、監査委員 萩野一久、病院長 柳澤真司  
事務局長 小柳洋嗣、事務局次長 佐伯哲朗、庶務課長 石井利明、人事課長 國見規之  
管財課長 相原直樹、財務課長 黒木淳一、経営企画課長 加藤友紀子  
副院長兼学校長 藤森基次、副院長兼患者総合支援センター長 北村伸哉、分院長 北湯口広  
医務局長 駒 嘉宏、医療技術局長 児玉美香、看護局長 北 清美

4 会議に付した事件は次のとおりである。

- ・認定案第1号 令和6年度君津中央病院企業団病院事業会計決算の認定を求めることについて  
(質疑、討論、採決)
- ・議案第3号 令和6年度君津中央病院企業団病院事業会計未処分利益剰余金の処分について  
(質疑、討論、採決)

(午後1時30分開議)

<議長>

議場の皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は11名でございます。

定足数に達しておりますので、本日の本会議を開きます。

なお、木更津市選出の草刈慎佑議員から欠席の届出がございましたので、報告いたします。

これより日程に入ります。本日の議事日程は、お手元に配付してございます。その順序に従いまして会議を進めてまいりますので、ご了承願います。

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第93条の規定により、田中幸子議員及び中山正之議員を指名いたします。

#### 日程第2 議案の審議

次に、日程第2、議案の審議を行います。

認定案第1号 令和6年度君津中央病院企業団病院事業会計決算の認定を求めることについてを議題に供します。

ご質疑はございませんか。

(発言する者なし)

ここで前回の質問に対する答弁がまだ未定というか、答弁がございません。したがって、前回の残った部分についての討論を行いたいと思いますが、初めに、佐伯事務局次長。

<事務局次長>

議会初日にいただきましたご質問のうち、未回答のものにつきましてここで回答させていただきたいと存じます。

まず、草刈議員からご質問いただきました医療外未収金の未収金対策はどうしているかについてでございますが、その後、議員にご確認させていただきましたところ、入院中などに発生するおむつ等の少額の自費分の扱いについて確認したいとお聞きしておりますので、回答のほうをさせていただきます。

入院患者さん等で保険診療以外に自費分が発生した場合は、通常は医療費の一部負担金とともに患者さんに請求いたしますので通常の医療費と同様の扱いとなり、新たに導入いたしました連帯保証人代行制度の対象となります。ただし、退院後の文書料など、単独で自費分請求額が発生する場合において、特に保険会社の診断書等につきましては、患者さんから書類作成の依頼を受けた場合であっても、その後、不要になった等の理由により書類を受け取りに来られない場合があるため、不測の未収への予防策といたしまして、できるだけ書類の作成依頼があった際に料金を頂くようにしております。

なお、草刈議員は本日公務のためご欠席でございますので、後日ご説明させていただく予定としてございます。

以上でございます。

<議長>

次の答弁者。相原管財課長。

<管財課長>

それでは、私のほうからまず、何点かございますが、まず1点目としまして、草刈議員よりいただいております院内のWi-Fi環境整備工事はいつ実施され、また、その工事費は幾らかという問いをいただいております。

こちらの回答につきましては、院内のWi-Fi環境整備につきましては、各病床に設置している床

頭台、テレビ、冷蔵庫等の各階の病棟デイルームに設置しているインターネットパソコン等の利用サービスと併せまして病棟床頭台等設置運営事業として、株式会社メディウムジャパンと契約しております。

また、この契約につきましては、床頭台に備えているテレビや冷蔵庫の利用料金が業者の収入となりまして、また、それらの売上げに対する63%が手数料としまして病院の収益となるものです。

この契約によりまして、平成29年4月に各階の病棟デイルーム、また、令和元年6月に外来エリアのWi-Fi環境の整備をしております。

Wi-Fi、こちらの整備に係る工事費につきましては契約業務内としておりますので、業者による工事でございますので、金額のほうは承知してございません。

続きまして、下田議員からいただいております各病棟デイルームのインターネット機器の維持管理費の委託費ということでございます。

こちらにつきましては、先ほども申し上げましたとおり、各病床に設置している床頭台、テレビ等の利用サービスと併せまして、病棟床頭台等設置運営事業として計画しているものになります。床頭台に備えているテレビ、冷蔵庫の利用料金が業者の収入となりまして、その売上げに対する63%が手数料として当院の収益となるものです。

最後になりますが、こちら、下田議員からいただいております入札差金の金額につきましては、こちら、定例会別冊1の28ページに沿って、こちらの項目でお話しさせていただければと思います。

まず、管財課分の本院の令和6年度の入札差金、こちらは予算執行残額ということなんですが、建設工事で約1,700万円、医療機械の物品購入で約1,650万円、備品で325万円でありました。そのうち医療機械購入にて突発的な機器故障対応のため、予算が不足したために入札差金の約600万円を充てております。

回答のほうは以上となります。

<議長>

事務局から初日の件に関する答弁がございました。それを踏まえて、ご質疑ございませんか。

下田議員。

<5番 下田剣吾議員>

下田でございます。どうぞよろしくお願いします。

丁寧な回答ありがとうございました。1点お聞きしたいのが、入札差金のうち600万円を緊急の医療機器の修繕等に使用したということで伺いましたが、それが決算書のどこに書いてあるのかというのを教えてください。

2点目は、床頭台というのがちょっと音で分からなかったので追加で説明をいただいて、それについてなんですが、決算の委員会の答弁では、外来のみ設置で病棟にはないという、たしかそういう答弁が議事録に残っておりますと思いますが、今の説明では病棟、外来ともに設置してあるということで答弁されましたので、そのあたりを答弁を修正するのかというのを伺いをしまして、最後は、おっしゃるように、様々なことを委託して床頭台とテレビ、そしてWi-Fi、インターネットの情報検索用パソコン設置ということで業者の方をお願いをしているということですので、それが長期継続契約なのか、どういった契約方式で、そして幾らぐらいかかっているのかというのがちょっと分からなかったもので、その63%の意味も込めて教えてください。

<議長>

当局の答弁を求めます。

相原管財課長。

<管財課長>

それでは、まず床頭台のほうからちょっとご説明させていただきます。

こちらは、患者様が入院したときに、病床ごとに例えば荷物入れのあれだとか、貴重品管理のこういったボックスがあったとか、そこにテレビと冷蔵庫が備わっているというものになります。

それで、W i - F i の使用可能なエリアなんですが、申し訳ございません、私のちょっと発言が誤っていたと思います。ただ、病棟の一部ということで各階にデイルームがあるかと思うんですが、そちらに関してはW i - F i のほうは使用可能という形になっております。

それと、あと契約の内容なんですが、こちら直近で申し上げますと、令和7年7月1日から5年間の長期継続契約をしておるという形になります。費用につきましては、こちらは向こうの手数料を頂くという形になりますので、うちの出費というのはございません。収入のみというふうに、収入が入って収益になるという形というふうに存じます。

あと、入札差金の決算書なんですが、すみません、またちょっとお調べまして、また後ほど回答させていただきます。

<議長>

それでは、報告をお願いいたします。本日中です。

ほかにご質疑ございませんか。

下田議員。

<5番 下田剣吾議員>

本当に数百億円の決算ですので、そのあたり明確に歳入の部分とその流用した部分があったらしっかり記載していただくか、口頭で補足して説明する場面もあったと思いますので、そういったことを次からきちんとしていただきたいと思います。

W i - F i の件は、草刈議員の質問の趣旨は、ほかの私立病院を含めて大手の病院で病棟、そしてデイルーム、そして外来でW i - F i が設置されていないというのは非常に珍しい例になったので、全面的にしっかりと導入をして、それを利用者さん皆さんに告知をしてほしいというような趣旨だったと思いますので、病棟、デイルームから離れた病室で使えないということかなというふうに推測しましたが、そのあたり、一般的な病院で使われているW i - F i 環境が整うように調整をいただきたいと、これはお願いをいたします。

その収入の件は、歳入の手数料収入は載っているということによろしいんですか。

<議長>

正式な答弁をお願いいたします。

相原管財課長。

<管財課長>

そちらのレンタルカード手数料ということで、定例会別冊の4になりますが、そちらの13ページになります。その他医業外収益の上から2番目ですね。レンタルテレビ手数料という形で記載してございます。

以上でございます。

<議長>

下田議員。

<5番 下田剣吾議員>

ありがとうございます。1, 574万9, 000円の収益があるということで理解をいたしました。

一番肝腎なところは、答弁の趣旨としましては、全てレンタルテレビ、そして台のお金、床頭台を含めて契約をされていて、うちの負担はなくて63%のテレビ使用料が入ってきて、それが1,500万円になっているので、使っていないとしても患者のパソコンですね、患者用の情報検索パソコンは無駄じゃないというようなニュアンスの答弁かなとご推察をいたしますが、実際には皆さんは委託費をこれから下げようとしているわけですね。委託費を下げるというのはどういうことかということ、仕様書を見直して、無駄なところがないようにして、相手方の損が出ないように、そしてこちらの得ができるだけ増えるようにということで交渉いただくというのが委託費の見直しという言葉の本質だと思います。患者用パソコンは使われていない、そして何が起きているかということ、パソコンの更新費用もあるでしょう、セキュリティソフトの更新費用もあるでしょう、あるいはウインドウズの更新費用もあるかもしれません。そういったものは私たちが知らないだけで委託費の中に盛り込まれ、それが過大な支出として私たちは払っているということを想像いただかないと、委託費の見直し、それに伴う仕様書の見直しというのはできないと思います。

患者さんは自らのスマホで検索をし、パソコンは使われていないという状況があるわけですから、仕様書を見直したり、事業者とよく話し合ったりして、より利便性を向上して無駄な支出がないようにしっかりと見直していただきたいと思います。

以上です。

<議長>

相原管財課長。

<管財課長>

ありがとうございます。今、インターネットパソコンの利用状況ということなんですが、ちょっと具体的な数字では持っていないんですが、感覚的な話になってしまいましたが、当院は毎日院内を巡回している職員がおります。その方に話しますと、やっぱり年配の方がそのインターネットでいろいろ作業しているというふうに聞いております。やはりスマートフォンを持っているのに利用している方もいるということで、やはりパソコンのほうが操作性だとか、その視認性というところで、そういったよさがあるのかなというふうに考えております。

また、そのパソコンの不具合や故障についても、患者様から問合せも度々ございますので、利用者はいらっしゃるかなというふうに考えております。

以上でございます。

<議長>

ほかにご質疑ございませんか。

(発言する者なし)

質疑終局と認めます。

次に討論を行います。

まず、反対者の討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成者。

(「なし」の声あり)

反対者、賛成者、討論がありませんので、採決をいたします。

認定案第1号を原案のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(全 員 挙 手)

挙手全員であります。

よって、認定案第1号 令和6年度君津中央病院企業団病院事業会計決算の認定を求めることについては原案のとおり認定されました。

次に、議案第3号 令和6年度君津中央病院企業団病院事業会計未処分利益剰余金の処分についてを議題に供します。

質疑はございませんか。

(発言する者なし)

質疑なしと認め、直ちに討論を行います。

まず、反対者の討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成者。

(「なし」の声あり)

それでは、採決をいたします。

議案第3号を原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全 員 挙 手)

挙手全員であります。

よって、議案第3号 令和6年度君津中央病院企業団病院事業会計未処分利益剰余金の処分については原案のとおり可決されました。

これをもちまして今期定例会に付議されました案件は全て議了いたしました。

閉会に当たり、田中企業長より挨拶がございます。

田中企業長。

<企業長>

それでは、定例会の閉会に当たりまして、一言御礼のご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、上程いたしました3議案と認定1件、報告1件につきまして慎重なご審議をいただき誠にありがとうございました。本定例会で賜りました数々のご意見に十分配慮し、今後も事業の執行に当たってまいります。

早いもので令和7年度も6か月が経過いたしました。物価高騰、人件費の上昇の影響は医療機関にも重くのしかかり、8月までの5か月間の決算は本院で6億8,800万円の赤字、分院で2,700万円の赤字、企業団全体で約7億1,500万円の赤字となり、昨年度に引き続き企業団の経営状況はいまだ厳しい状況が続いております。

しかしながら、このような中にあっても4市の市民サービスの一つである病院事業請負を処理する一部事務組合として、これまで提供してきた高度専門医療等の質を落とすことはしておりません。今後も引き続き病院の理念に掲げております良質で安全な医療の提供と地域住民から信頼される病院を目指して、職員一丸となって取り組んでまいります。

議員の皆様には、今後も企業団が地域の中核病院としての体制を維持できるよう引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げ、閉会に当たっての挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

<議長>

これにて令和7年9月君津中央病院企業団議会定例会を閉会いたします。

なお、この後、14時ちょうどから議会議員全員協議会を開きますので、よろしくお願いいたします。

(午後1時50分閉会)